

# 第27回 岡崎市民クラシックコンサート / 第37回 岡崎第九演奏会 〈出演者プロフィール〉

指揮

井上道義

Conductor  
Michiyoshi INOUE



©高木ゆりこ

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィル音楽監督、京都市響音楽監督、大阪フィル首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015年全国共同制作オペラ『フィガロの結婚』（野田秀樹演出）を、2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタインミサ」（演出兼任）を、2019年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』（森山開次演出）を、いずれも総監督として率い、既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」を受賞。2018年9月、日越外交関係樹立45周年記念NHK交響楽団ベトナムツアーを指揮し各方面より絶賛されている。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。オフィシャル・サイト <http://www.michiyoshi-inoue.com/>

ソプラノ

基村昌代

Soprano  
Masayo KIMURA



愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。ドイツ国立デトモルト音楽大学に留学、イタリア・ミラノにて2年間研鑽を積む。日本音楽コンクール入選、世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2001」に日本代表としてドイツ本選に出場し審査員全員一致で特別賞を受賞。これまでに「イルトロヴァトーレ」「カルメン」「ワルキューレ」「ジークフリート」「神々の黄昏」「トゥーランドット」などに主演の他、多数のオペラに出演。ベートーヴェン「交響曲第九番」、マーラー「嘆きの歌」「復活」等ソリストも務める。国外ではブルガリア・ソフィア芸術祭、イタリア・サンタフィオーラ第5回国際音楽フェスティバルのほか、ドイツ・イタリアの各地にてコンサートに出演。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専属歌手として5年間活動。現在、桜花学園大学准教授、名古屋音楽大学及び同朋高等学校音楽科非常勤講師、びわ湖ホールソロ登録メンバー、名古屋二期会会員。

メゾ・ソプラノ

福原寿美枝

Mezzo soprano  
Sumie FUKUHARA



京都市芸大卒業、同大学院修了。友愛ドイツリートコンクール第2位、日本音楽コンクール入選。2008年新国立劇場「ナクソス島のアリアドネ」作曲家、2011年東京文化会館50周年記念『古事記』イザナミ、2012年愛知県文化振興事業団創立20周年記念『ランメルモールのルチア』アリーサ、2014年ひろしまルネッサンス『カルメン』タイトルロール等が、卓越した歌唱力と観る者を魅了する舞台姿で好評を博す。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」などの教会音楽や、バーンスタイン「交響曲第1番」、ブラームス「アルト・ラブソディ」、プロコフィエフ「アレクサンドル・ネフスキー」、ベートーヴェン「第九」、マーラー「交響曲第2番」「交響曲第3番」「リュッケルトの5つの詩」等でオーケストラと共演。広い音域と豊かな音量、そして説得力のある歌唱で、今最も活躍しているメゾ・ソプラノ。神戸市文化奨励賞受賞。関西二期会員。

テノール

宮里直樹

Tenor  
Naoki MIYASATO



©深谷義直sauraY2

東京藝術大学首席卒業、同大学院修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてウィーン国立音楽大学にて学ぶ。第23回リカルド・ザンドナーイコンクール第2位、第48回日伊音楽コンクール第1位など受賞多数。オペラはこれまでに、二期会創立65周年・財団設立40周年記念『蝶々夫人』（ガエタノ・デスピノーサ指揮／栗山昌良演出）ピンカートン、日生劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォの他、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『ファルスタッフ』フェントン、『愛の妙薬』ネモリーノ等を演じる。コンサートでも、ヘンデル『メサイア』、バッハ「ロ短調ミサ」、ベートーヴェン「第九」、メンデルスゾーン『聖パウロ』、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシニ「スターバト・マーテル」等のソリストとして幅広く活躍。20年2月東京芸術劇場「椿姫」アルフレード、11月日生劇場「ランメルモールのルチア」エドガルに出演予定。二期会会員

バス

デニス・ビシュニャ

Bass  
Denys VYSHNIA



ウクライナ生まれ。キエフ国立チャイコフスキー音楽院で学び、キエフ市立歌劇場ソリストとして、『エフゲニー・オネーギン』グレーミン、『イオランタ』レネ王、『アイダ』ランフィス等で出演。New Names Competition (ウクライナ) 第1位。2010年にプラシド・ドミンゴ指揮 アレーナ・ディ・ヴェローナ日本公演『アイダ』エジプト国王、サイウ・キネン・フェスティバル松本『サロメ』兵士、小澤征爾指揮『フィガロの結婚』バルトロ、アルベルト・ゼッダ指揮『セビリヤの理髪師』バジリオに出演。その後も、びわ湖オペラ『リゴレット』スパラフチャーレ、『ラインの黄金』ファザルト、日生劇場『ボエーム』コッリーネ、『魔笛』ザラストロ等で出演。沼尻竜典指揮／トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズとのシオスタコヴィチ：交響曲第14番『死者の歌』でも高い評価を受ける。2018年「第九ひろしま」、2019年全国共同制作オペラ 井上道義指揮『ドン・ジョヴァンニ』騎士長で出演。オフィシャル・サイト <http://www.denysvyshnia.com/>

管弦楽

名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra



愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリード。革新的なプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信。“名フィル”の愛称で地元から親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2016年小泉和裕が音楽監督に就任。ほか、現在の指揮者陣は、川瀬賢太郎（正指揮者）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）。2017年酒井健治がコンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国、2000年アジア8か国、2004年「プラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3か国、2006年アジア7か国の海外ツアーを行い成功。1966年7月創立。1973年名古屋市の出捐により財団法人に、2012年愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在はバラエティに富んだ年間約120回の演奏会に出演。

オフィシャル・サイト <https://www.nagoya-phil.or.jp/>

合唱

岡崎「第九」をうたう会



1983年6月、岡崎文化協会が市内の合唱団や市民に呼びかけて発足。同年12月に外山雄三氏の指揮、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏で第1回の第九演奏会を開催。歴代の指揮者には外山雄三、関谷弘志、梅田俊明、新通英洋、工藤俊幸、茂木大輔、川瀬賢太郎の各氏を迎え、主に名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演を重ねている。発足以来、演奏会の半年前に発会式を行い、新たに会を結成。毎週金曜日の夜に2時間の練習の他に特別練習などを重ねて演奏会に臨み、演奏会から1ヶ月程のちの反省会をもって解散するという形で毎年活動を続け、今年で37年目を迎えた。練習には合唱指揮者をはじめ、ヴォイストレーナーやドイツ語専門の指導者が揃い、初心者にもわかりやすく、丁寧な指導には定評がある。「明るく、楽しく、しっかりと」を会のモットーに、毎年レベルの高い演奏を目指している。 <https://okazakidai9.wixsite.com/index>